

年頭ごあいさつ



あきた北農業協同組合
代表理事組合長

仲澤 修

政府・マスコミの「減反廃止」報道に

惑わされずに生産調整にご協力を!!

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は6月及びお盆前後の
低温、更に7月の二度に渡る
大雨等、農産物に大きな影響
を与え、生産者にとっては喜
びの少ない「出来秋」でした。

さて、今年最大の課題は、
政府の米政策転換への対応で
す。
昨年は生産調整達成と天候
不順の関係で需給環境が引き
締まり、米概算金が値上がり

しましたが、今年は米の直接
支払交付金（10 a当たり75
00円）が廃止されることと
収入減少影響緩和対策（ナラ
シ対策）における生産調整未
実施者へのペナルティーが全
て無くなったことです。

また、昨年は36都道府県で
生産調整が達成されたものの
残り11県で未達であることを
踏まえて、JAグループとし
て需給と価格の安定のために
生産調整を推進する全国組織
の立ち上げを政府に要請しま
したが、政府はあくまで「民
間」での考えです。

生産者の皆様には、1月に
開催されます大館市農業再生
協議会と共催の説明会に出席
していただき、需要に応じた
生産に引き続きご協力をお願

いたします。

安倍官邸農政と規制改革推
進会議の農業と農協への改革
提案のたびに思うことは、農
業・農村への理解度があまり
にもひどいということですが、

農産物はどこでも販売され
ているし、あらゆる人々の食
卓に上がっています。それが
を生み出しているのは農村で
す。その中にJAが存在して
おりますので、「おらほの
JA」と言われるように協同

組合の理念を大切に、今年も
「農業者の所得増大」「農業
生産拡大」そして「地域活性
化」に向かって取り組んで参
ります。

今年「戌年」ですので「忠
犬ハチ公」の力を借りてでも
地域を元気にしたいと思っ
ております。皆様の益々のご健
勝を祈念し、新年のあいさつ
とさせていただきます。
本年もご協力をよろしくお
願いいたします。

新春のお慶びを

申し上げます

代表理事組合長

仲澤

代表理事専務

佐藤

常務理事

松江

理事

糸屋

川田

安部

岩沢

伊藤

齋藤

松澤

富樫

嶋山

仙台

三浦

齋藤

齊藤

小丹

一関

代表監事

本多

常勤監事

秋元

田畑

浅川

山内

北川

ほか職員一同

